

前期日程

令和 8 年度入学試験問題（前期日程）

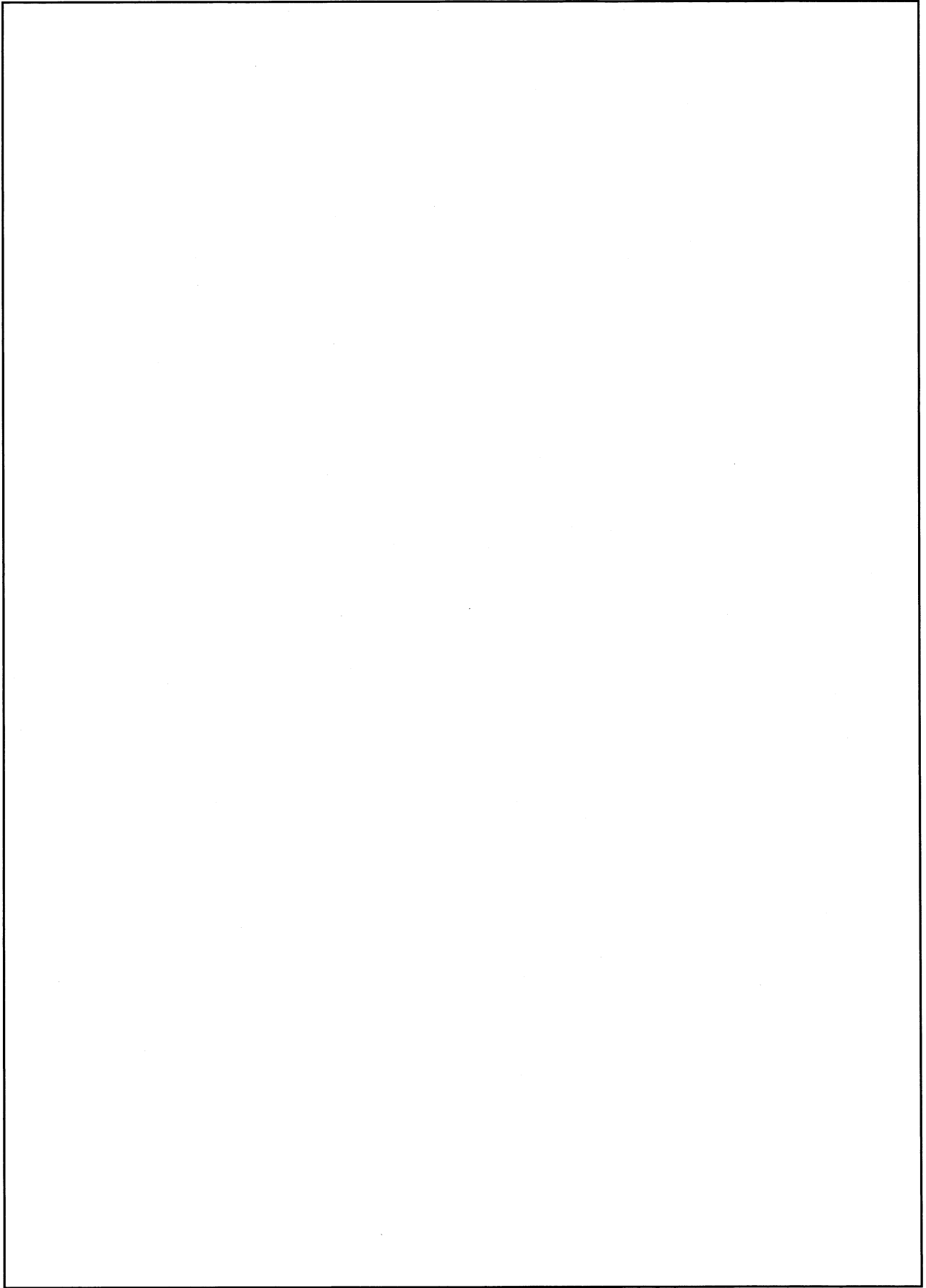
国 語

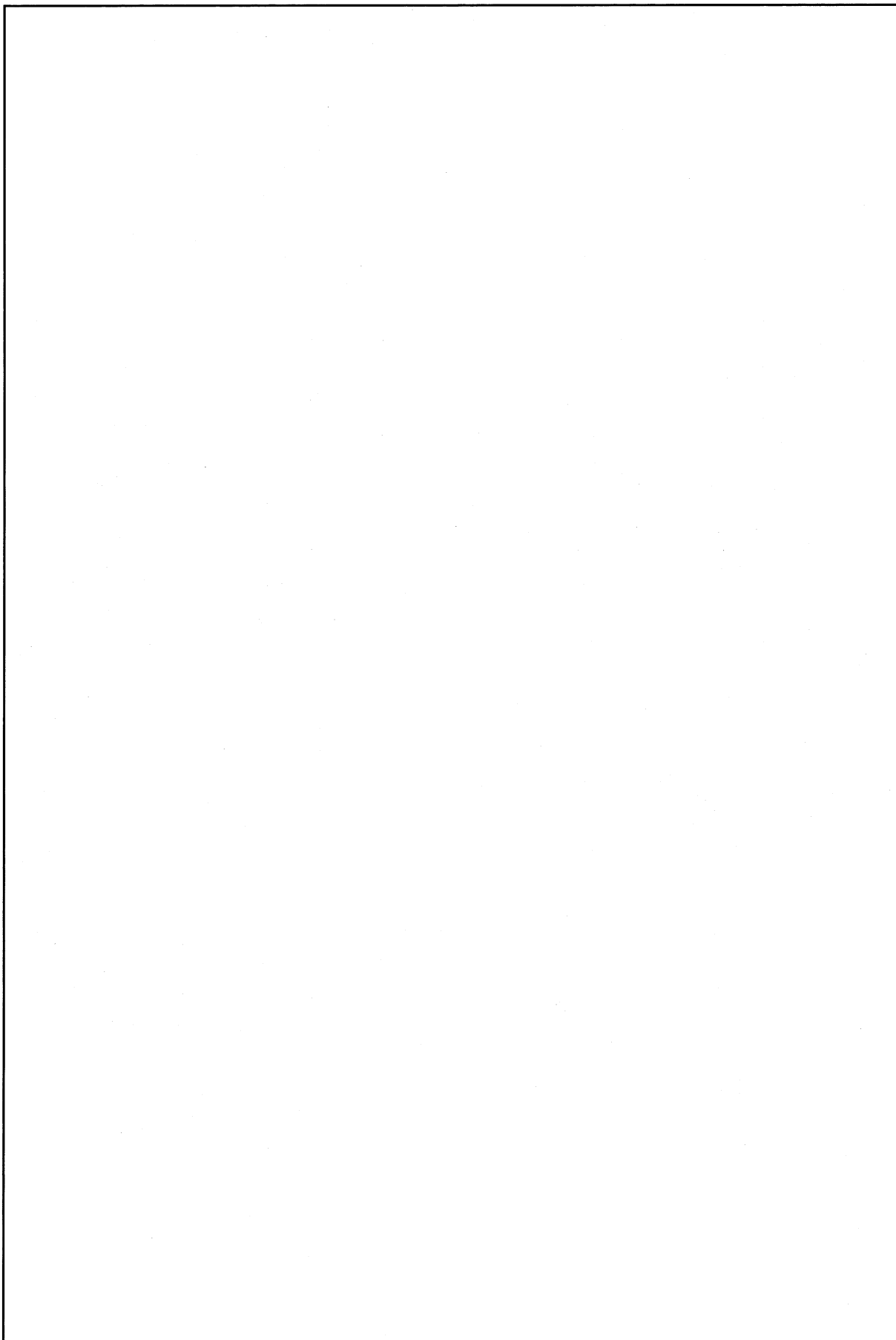
（教育学部）

——— 解 答 上 の 注 意 事 項 ———

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 問題冊子 1 冊と解答紙 2 枚がある。
- 3 問題は 3 問ある。（すべての問題に解答すること。）
- 4 問題の解答は、解答紙の所定の解答欄に記入すること。
- 5 問題冊子は持ち帰ること。

一 次の文章は、批評家の宇野常寛による『庭の話』の一節である。宇野はこの文章で、フランスの庭師ジル・クレマンの仕事について述べている。よく読んで、後の問いに答えなさい。（設問の都合上、原文を一部改めたところがある。）





注

- 1 ジル・クレマン『庭師と旅人「動いている庭」から「第三風景」へ』（エマニュエル・マレス編、秋山研吉訳、あいに出版、二〇二一年）二二ページ（原文の注による）。
- 2 同右、二二ページ（原文の注による）。
- 3 筆者は本文の前の章において、「庭」という言葉の歴史的な変遷に言及している。
- 4 群落。

- 5 注1に同じ、二三ページ（原文の注による）。
- 6 ここでは、一定の手順やルールの意。
- 7 黒海とカスピ海の間にある山脈沿いの地帯。バイカルハナウドの原産地の一つとされる。
- 8 マダガスカルのある島。ドードーは十七世紀後半に絶滅したとされる。
- 9 ある生物が進化することで、他の生物もそれに影響されて進化すること。
- 10 ジル・クレマン『動いている庭』（山内朋樹訳、みすず書房、二〇一五年）一六ページ（原文の注による）。

問一 二重傍線部ア～エのカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部A「庭とは古来「最良のもの」を守る囲いであった」について、次の(1)と(2)に答えなさい。

- (1) 「最良のもの」について説明した箇所として最も適切な部分を、本文中から三十字以内で抜き出しなさい。
- (2) (1)の具体例として挙げられているものを、本文中から重複せずにすべて抜き出しなさい。

問三 傍線部B「乱数として利用」するとはどういうことか、「人間」「自然物」「庭」という語を用いて説明しなさい。

問四 傍線部C「庭」でありつつける条件」とは何を指すか、簡潔に答えなさい。

問五 傍線部D「庭」の本来あるべき姿への接近」とあるが、庭は「本来」どのようなところだったのか、本文中の語句を用いて説明しなさい。

問六 傍線部E「ノスタルジ的なものではなく、エントロピー的なものだ」とはどういうことか、わかりやすく説明しなさい。

問七 傍線部F「クレマンという……くれるからだ」とあるが、本文で述べられている庭づくりの発想は、庭づくり以外の場において、どのように活かされていると考えられるか。あなたの考えを次の条件①～③に従って書きなさい。

条件① 自分の知識・体験や実社会の中から適切な題材を一つ取り上げること。

条件② 本文で述べられている庭づくりの発想との関連を明示すること。

条件③ 解答欄に収まる範囲で読みやすく記述すること。

二 次の文章は『春雨物語』に収められた「捨石丸」の一節である。（「」の部分をつまみ替えて本文を読み後の問いに答えなさい。（設問の都合上、本文の表記を改変した箇所がある。）

注

*国は豊くにの何がし殿にて……国守は豊前を領国とする何某殿で。
なにがし

*疔……悪性の腫物。
はれ

*その名たかきには……このように評判が広まってしまったは。

*岩ほ……大きな岩。

*八里……一里は約四キロメートル。

*今やうやう穴をつつきて、一丁ばかり……（一念発起して）今やうと穴をうがつこと一丁（約百九メートル）ほど。

*触れながして……お触れを出して。

*事ひろごりては……事態が大げさになってしまつては。

*行路難を開きて、長き代にたよりする……道の難路を切り開いて、後の世までの利福を図っている。

*家は亡ぶとも……家が取りつぶされても。

*す行すべし……仏道に入ることになしう。「す行」は修行のこと。

*水うまや……休息を取る所。

問一 二重傍線部①②③の助動詞の意味を答えなさい。

問二 波線部ア「これ」・イ「かれ」の指すものを文中の語で答えなさい。

問三 波線部 a・b を、主語を補って内容がわかるように現代語に訳しなさい。

問四 傍線部 A「我も力そへん」とあるが、(1)何をするに力を貸すのか、(2)なぜ力を貸そうと思ったのかについて説明しなさい。

問五 傍線部 B「よろこぶよろこぶ」とあるが、なぜこのように喜んだのか、説明しなさい。

問六 傍線部 C「捨石おどろきて」とあるが、なぜ驚いたのか、説明しなさい。

問七 傍線部 D「心奢りたるは愚かなり」とあるが、ここに込められた捨石丸の気持ちを説明しなさい。

三 次の文章をよく読んで後の問いに答えなさい。(設問の都合上、送り仮名を省略したところがある。)

(『韓非子』による。)

注
張儀……戦国時代の遊説家。このとき魏の国にいた。

秦・韓……いずれも戦国時代の国の名。

魏……戦国時代の国の名。

斉・荆……いずれも戦国時代の国の名。荆は楚ともいう。

恵施……戦国時代の遊説家。彼もこのとき魏の国にいた。

以斉・荆偃兵……魏が斉・荆の二国を味方につけることで、秦・韓が攻めてこないようにし、それによって戦争を回避する。
王……魏の国の王。

不可不察也……よくよく考えてみなければならない。

謀者、疑也……人と相談するのは、何が正しいかが疑わしいからである。

劫主……臣下におびやかされる君主。

問一 傍線部①～④の文中における読み方を、送り仮名も含めてすべてひらがなで記しなさい。(仮名遣いは新旧どちらでもよい。)

問二 傍線部Aを口語訳しなさい。

問三 傍線部Bについて、「王」がどのように判断した理由は何か。簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部Cを書き下し文に改めなさい。(仮名遣いは新旧どちらでもよい。)

問五 傍線部Dは何を言おうとしているのか。本文の趣旨を踏まえて、わかりやすく説明しなさい。

